

同額抽選の方法

(落札予定者となるべき同額の入札が2者以上ある場合)

郵便入札の開札の結果、落札となるべき同額の入札が2者以上の場合は、次の方法により、くじ(抽選)で落札候補者を決定します。

1、くじの手順

- (1) 書留番号(11桁)の下4桁の小さいものから順にくじ番号(0, 1, 2……)を付与します。
※書留番号は郵便追跡用に使用する番号で、*** (3桁) -** (2桁) -***** (5桁) -* (1桁) の合計11桁で表示された番号です。
- (2) 同額入札の書留番号の下4桁を合計し、その合計額を同額入札者の数で除算し、余りを算出します。
- (3) 上記(2)の計算結果による余りと一致した上記(1)のくじ番号の入札参加者の最上位を落札候補とする。
- (4) 最上位のくじ番号に1を足したくじ番号の入札参加者を2順位とする。
この場合において、最上位くじ番号に1を足したくじ番号が存在しない場合には、「0」のくじ番号に入札参加者を2順位とする。
- (5) 3順位以下は(4)の規定に順位で決定する。

(例) 入札参加者3者が同額入札の場合

- (1) 書留番号(11桁)の下4桁の小さい順にくじ番号(0, 1, 2……)を付与する。
(※下4桁が同一の数字となった場合は、上位の数字を参照する)

業者名	書留番号	書留番号下4桁	くじ番号
A社	***-**-01234-5	2345	0
B社	***-**-13579-1	5791	1
C社	***-**-24681-2	6812	2

- (2) 書留番号下4桁の和を求め、同額入札者数で除算し、余りを算定する。

$$\begin{array}{l}
 \text{A社(書留番号下4桁)} \quad 2345 \\
 \text{B社(書留番号下4桁)} \quad 5791 \\
 \text{C社(書留番号下4桁)} \quad 6812
 \end{array}
 \left. \vphantom{\begin{array}{l} \text{A社} \\ \text{B社} \\ \text{C社} \end{array}} \right\} \text{合計 } 2345 + 5791 + 6812 = 14948$$

$$\text{余り } 14948 \div 3 = 4982 \cdots \text{余り } 2$$

- (3) 順位の決定

順位	業者名	くじ番号	備 考
1位	C社	2 <=	余りの「2」と一致するくじ番号である『C社』が最上位
2位	A社	0	2+1=「3」のくじ番号が存在しないので、くじ番号「0」のA社
3位	B社	1	0+1=「1」と一致するくじ番号である『B社』